

《ロービングの手順》

2025 横須賀資料

R=レフェリー AR=アシスタントレフェリー RU=ロービング

2025ルール

P196 ① 試合コートのチェック

ネット、シングルス・スティック、ベンチ、スコアカード、ごみなど
スコアカードは本部から見えるように設置。

② プレマッチミーティングを行う

- * 選手の確認。
- * 試合方法、使用ボール数、ウォームアップ方法、（ボールチェンジ）
- * フットフォールトは、コート内外からコール出来る事を選手に伝える。
- * スコアボードは、ドロー番号が若い選手がグリーンカード。
- * スマートウォッチの着用は不可。
- * フェイスマスク、医療用マスクは各大会要項、確認。
- * 困った時は、ロービングに声かけて下さい。
- * 質問ありますか？
- * 質問が無ければ、トスしてからウォームアップを始めてもらう。

☆電動ファン付きジャケット・ベストの着用及び電動ファンについては
各エンドチェンジ、セットブレイクの時間内に限り使用出来る。

③ 円滑な試合進行のために担当コートを巡回する。（時間管理）

* 暑い時期は特に選手の様子に注意

筋ケイレンも熱中症の発症に伴っていれば、MTO取れます。P123

ドクター居ないので選手の顔色、頭痛など熱中症の疑いあればレフェリーの
判断仰いで下さい。

★フットフォールト

必ず100%確信がある時、サーブを打った瞬間にコール。

他のコートのプレーが中断しないように、気を付けて。

<P15 規則18 フットフォールト>

サーバーは、サービスのモーション（開始から終了まで）の間

- a) 歩いたり走ったりして、立っている位置を変えない。しかし足を少し
動かすぐらいは構わない。
- b) どちらの足も、ベースラインまたはその内側のコートを踏まない。
- c) どちらの足も、サイドラインの仮想延長線外側の地面に触れない。
- d) どちらの足も、センターマークの仮想延長線を踏まない。

★オーバールール

「イン」「アウト」のオーバールールはR、AR、RUが行える。P195

但しRUは100%確信があり、他のコートに配慮する。

(オーバールールの声で、他のコートのプレーが中断しないように)

例 *選手がインだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール。

RU 「今のボールは入っていました」とオーバールールし、

そのボールが正しく返球された場合は、1回目レットでやり直す。

エース、ウィニングショット、正しく返球されなかった場合は、失点。

2回目以降のミスジャッジは失点。

★スコアが分からない P194 8)

双方のプレーヤーが合意出来るスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで

双方が合意出来るポイントを足したスコアから再開。

合意出来なかったポイントは取り消される。(ゲームスコアも同様)

再開するときのエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。

④ 試合終了の確認、中断の状況を把握し、試合進行の指示をだす。

⑤ 試合終了時は次の試合の為に、ネットの高さ確認し、忘れ物のチェック。

⑥ トーキーは、常に本部と連絡出来るようにする。

選手からリタイアの申し出があった場合は、必ずレフェリーに連絡。

⑦ ボールがコート外に出た時は、本部に連絡しボールを補充する。

セットボールが用意出来ない大会もあります。(敗者が持って帰る)

ボールの行方を確認し、対処して下さい。(拾いに行く等)

⑧ 担当コートの引き続き(トイレットブレイク回数、ミスジャッジなど)

* 雨天、日没、ヒートルールなど試合の中断をレフェリーに連絡する。

* スコアなどのトラブルがあった場合は、コートに入りルールに従って解決する。

今後スコアを両方で確認するなど、同じトラブルがないように指導する。

* リタイアの申し出があったら、状態を聞き速やかにレフェリーに連絡する。

☆RUはチームワークが大事です。お互い声かけあって仕事をカバーしましょう。